

境港長期構想検討第4回委員会資料について

令和2年3月
境港管理組合

境港の20年から30年先の将来像を示す「境港長期構想（資料1）」、境港長期構想のうち10年～15年先の港湾整備の方針を示す「港湾計画の素案（資料2）」は、第3回委員会までにご提示した資料を基に、時点修正、パブリックコメントの反映等を行った上で再構成したものであり、主な修正等の内容は次のとおりです。

<資料1：境港長期構想>

- 長期構想策定の目的や根拠等を示すため、長期構想の説明資料を追加しました。（P3）
- 長期構想見直しの背景、社会経済情勢等の変化について、「2019レーザ一級世界選手権大会」を追加しました。（P6）
- コンテナ航路の就航状況について、平成31年4月の韓・中航路の新規就航を踏まえ、時点修正しました。（P24）
- 社会情勢および港湾を取り巻く環境の変化に係るクルーズ船の寄港状況について2019年を予定値から確定値に更新しました。（P54）
- クルーズ寄港回数の推計について、「見込みが少ないのではないか。」との第3回委員会での委員意見を踏まえ、現在の寄港回数推計作業状況に鑑み、100回以上、旅客数12万人以上に表現を修正しました。（P83）
- 従来、「島根県営貯木場跡地の有効活用」と表現していた箇所について、表現が適切でないとの幹事会意見を踏まえ、「中海（江島地区周辺）の有効活用」に修正しました。（P86, P87, P95, P104）
- 将来の空間利用：ゾーニング全体図について、「ゾーニング図のみでは境港の将来像が分かりにくい」とのパブリックコメントを踏まえ、各地区で取り組む戦略を明示しました。（P100）

<資料2：港湾計画素案>

- 境港各地区の施策展開方向について、「短期、中期、継続・持続的取組」を港湾計画に位置付ける旨、注意書きを追加しました。（P3, P4）
- 港湾計画素案の策定のうち、竹内南地区周辺②を追加しました。（P15）
- 将来の空間利用：ゾーニング全体図について、「ゾーニング図のみでは境港の将来像が分かりにくい」とのパブリックコメントを踏まえ、各地区での将来の利用状況が分かりやすくなるよう「現状の境港主要船舶の利用状況」と「港湾計画素案における各地区利用イメージ」の説明資料を追加しました。（P17, P18）
- 第3回委員会で示した竹内南地区賑わいづくり取組イメージについては、港湾計画に基づき整備した竹内南地区貨客船ターミナルが地域の賑わいづくり等に密接に関わる機能を有することを補足説明する資料であり、今回策定する港湾計画素案と直接的な関係はないことから、参考資料としての位置づけを明確にしました。（P20～P23）